

# 名古屋文化学園保育専門学校 学校関係者評価者及び評価・意見

(令和6年度自己評価に基づく)

## I 学校関係者評価 評価者

### 【業界団体】

公益社団法人 名古屋市私立幼稚園協会 前会長  
國府谷 俊盛 先生 (旭キンダーの丘幼稚園園長)

公益社団法人 名古屋民間保育園連盟 常務理事兼事務局長  
稲垣 伝三 先生 (オアシスはとおか保育園園長)

### 【他校、または他の教育機関兼務の本校非常勤講師】

修文大学短期大学部幼児教育学科非常勤講師  
牛田 弓子 先生

名古屋外国語大学非常勤講師  
桑原 恒和 先生

### 【卒業生】

平成14年度第2部卒業生  
本多 伯舟 先生 (社会福祉法人 清涼会 理事長)

平成27年度第2部卒業生  
伊藤 直 先生 (幅下幼稚園 園長)

## II 各項目の学校関係者評価・意見

### 項目1 教育理念・目的・育成人材像

・項目1について、全般的に高い評価ができる。

1. 創立者の教育理念を具現化するために、女性の自立を理念の核とし、貴校の目的である幼稚園教員、保育士の養成のため様々な機会、場面、ツールを利用し学内外に「理念」を周知させている。単なる養成校としての教育課程を踏まえるだけではなく、女性の自立を基軸に職業教育の重要性を明確にしている。また、各方面からの意見を幅広く求め、現代社会が求める人材を把握し、教育目標の適正な方向づけに努力している。特に愛知県実習連絡協議会・愛知県保育系学生就職連絡協議会にも積極的に参加し、施設の求める人材像を模索することは特筆すべき点である。
2. 教育理念が大切に継承され、取り組みにつなげていく努力は経営の根幹であり、ホームページにおいてもその発信をされており教育理念が大切に継承されていることは素晴らしいと感じ

じる。今後も理念の継承、発信がなされて、教職員と共有できるような取り組みについても継続をされていくことに期待したい。また、学生や学校関係者に対する教育理念等の周知育成人材像について教育保育現場の声を聞きニーズを知るについては、今後も強化した取り組みについて継続されていくことに期待したい。

3. 社会の就業スタイルが多様化し、リスキリングなど学び直が浸透する中、時代の要請に合わせてコースを新設する等、保育・幼児教育の道へ進むことを希望している学生にとって選択肢が広がり良いことだと思う。また、年々少子化が深刻な今、学生獲得に道を開く要因にもなっている。
4. 創立者の教育理念を継承する姿勢から、独自の特色を打ち出していることに大変な意義を感じる。又、バランスの取れた保育者を育成すると言う目標についても働く教職員一人一人にも研修会を通して明確に伝わっており、責任ある保育者を育成する教育機関による指標としてブレを感じない。
5. 保育施設の多機能化など、社会ニーズが多様化してきているので、引き続き情報収集に努めていただきたいと思う。
6. 保育者養成校として、「子ども目線で物事を捉えられる保育者の育成」及び「社会人としての自立」を目標とすることは大変意義深いことである。そのため、卒業後も「自立」の上に「子ども目線の“専門職”」としてキャリアを積み上げられる土台を構築されることを期待する。昨今の「不適切保育」が生じる社会的要因を考えると、「社会のニーズ」に重きが置かれ過ぎ、「子どもの豊かな発達や育ち」に悪影響が出ている。そのため、「社会のニーズ」を踏まえるという一方方向だけでなく、養成校や幼児教育・保育施設と連携して、社会に向けても「子どもの豊かな発達や育ち」のための環境作り、少なくとも「不適切保育」を生じさせないような政策・施策等を社会に訴えていくなど双方向の活動が必要と考える。「教育保育現場のニーズ」が社会の求める人材の育成及び新しい要領や指針の方針と大きくズレがある場合がある。そのため、学生が現場に実習に行った際に大きな戸惑いを受けることが多い。「教育保育現場のニーズ」に応えるだけではなく、養成校が連携して、「教育保育現場」の意識を変えることを通して、このズレを少なくしていく活動・働きかけを期待する。

## 項目2 学校運営

・項目2について、全般的に高い評価ができる。

1. 運営方針を学内関係者に周知徹底しており、各部署がそれをもとに組織整備され円滑に機能していることが確認できる。人事、財務における諸規定の整備もされ、教職員が安心して勤務できる体制がある。昨今とくに厳しく問われるコンプライアンス体制、情報公開体制の整備が学園の内部外部を問わず、なされている。情報のシステム化も時代に則して整備され、ホームページ、SNSなどからの発信を含め各業務の効率化が図られている点も特筆すべき点である。
2. 学校運営においては、業務用データサーバーを導入されたとのことで、ITC化を進めていくことにより多岐に及ぶ業務の省力化と教員間の情報共有が図れることにつながるのではないかと評価したい。一方で、課題にも記載されているが、新しいシステムをすべての教職員で活用することを早期に目指すことや、個人情報を含めた情報管理と情報漏洩に対する取り組みについても計画的に実行されていくことに期待したい。
3. 授業出欠の管理システムが定着し、出欠が厳格に行われており、学生自身がいつでも出欠や時間割の確認が出来るようになり、教員の業務軽減につながっていると感じる。また、保護者との連携においてもwebポータルで出欠状況などを共有できるようになっており、退学回避や生活の変化の気づきに役立っていると考える。

4. 幼稚園教諭・保育士の養成を目的とする運営方針による事業計画の策定に関して、例えば授業内容、教員の選出、配置に関しても、とても効果的である上に、各時代の学生側のニーズにも沿った、よく練られたものである事が分かる。
5. 情報公開について、ホームページや学生に適した SNS を活用した情報発信が頻繁になされており、教育活動の様子が十分に把握でき、高く評価できる。ICT を活用した業務効率化への推進に努めており、高く評価できる。
6. 学校の教育理念の一つである「社会人としての自立」「女性の自立」を目指す上でも、「産前産後休暇や育児休業等の就業の多様性に対応できる規定の整備」を進められ、実績もあることが評価できる。教育活動を HP だけでなく、SNS でも日々発信しているところが評価できる。次の段階として、社会に向けて幼児教育・保育の本質とは何か？などの周知のためにも、発信内容の質を高めることを期待する。

### 項目 3 教育活動

- ・項目 3 について、全般的に高い評価ができる。
- 1. 教育理念に沿った教育課程の編成・実施が、適正な学科配置、キャリア教育、関連分野企業との連携などを通して展開されている。活動評価も各方面から頻繁に実施され、その改善が適正に実施されている。教職員の資質向上も充実した研修体制で実施されている。教育、保育施設が多様化するなかで、教育・保育の現場も様々な対応を求められる時代となり、現場視点での教育方法の研究を進める体制に期待できる。様々な社会経験を経て入学してくる学生も多いなか、それぞれの実態に合わせた学業生活ができるよう柔軟に対応しようとする姿勢に共感する。学生の視点からの評価をアンケート方式で実施している点も評価できる。
- 2. 教育活動については、評価点が高く、これまでも重きを置いて取り組まれている様子が伝わってくる。その中でも昨年度より評価を上げた「関連分野における業界等との連携」「先進的な知識・技能を修得するための研修や教員の資質向上における取り組みにおいて、必要とする専門分野における教員の確保と教員の育成という部分に一定の成果があったことは素晴らしいと感じる。今後も各項目における課題について計画的な改善に努め、貴校の更なる強みにつなげていけることに期待したい。
- 3. 教育活動についての特色、校風の一つとして、それは実習、実践を重んじると言う姿勢であり、実習前のガイダンスは勿論、実習後の各学生の感想、意見を拾い上げるシステムが構築されており、この現場主義こそが自ずと学校の文化として根付いている事を確認出来る。
- 4. 授業に保育現場での実践的内容を多く取り入れていることは、大変高く評価できる。保育現場に求められる役割は多様かつ拡大しているため、今後も現場との連携をふかめながら情報収集をして対応して頂きたいと思う。
- 5. 質の高い保育者養成のためにも、教育理念の授業科目への反映に関する検討を期待する。「業界のニーズ」を踏まえるだけでなく、今後の社会が求める幼児教育・保育を踏まえた実習のあり方を実習園と作り上げていくことを期待する。新幼稚園教員養成課程及び新保育士養成課程に対応したカリキュラムを整えている点が評価できる。子ども・子育て支援新制度や教育保育現場の変遷に伴って多角的な視点が必要になったからこそ、幼児教育・保育の本質を踏まえた学びを深めた学生が教育保育現場に出てくることを期待する。画一的な指導が困難である多様な学生に対して、連携を図りながらチームで個人への支援を図ることは大変意義深いことであるため、その強化に期待している。今後も継続的な教職員の専門性の向上に期待している。

#### 項目4 学修成果

・項目4について、全般的に高い評価ができる。

1. 専門職への就業率向上を目指し、就職後の卒業生へのフォローも適切に行われている。単位取得が困難な学生への学習支援、生活指導、カウンセリングなども充実させ、退学率の低減をはかり、卒業、就職へ導いている。就職先の施設訪問による現場教員の声を聞き取るなど、卒業生の社会的評価を把握しようとする姿勢は、今後の学校、施設からの評価も高まる要因になると確信する。人材活用の点から長期履修コースや夜間部は、幼稚園、保育園にとっても望ましい制度であり是非継続を願うものである。
2. 学習成果においては、学生のドロップアウト（DO）率を下げる取り組みをはじめ、貴校のこれまでの多岐の取り組みが成果として表れていると感じる。引き続き優秀な専門士を社会に一人でも多く送り出すことができる取り組みを続けていてもらいたい。
3. 毎年6月に開催されるホームカミングディは卒業生を通しての動向を把握する場であると承知しているが、令和6年度は参加人数が前年度の2倍になり、学校が心のよりどころとなっている面が大きいと考える。
4. 学生による専門職、もしくは専門性を生かした職場への高い就職率の割合が維持されている事について大いに称賛する。又、長きに渡る誠実な教育活動により、この分野に於いての教育姿勢に対する信頼の厚さをよく耳にする。その為、勤める教員として学校と卒業生へのこの期待を裏切る事の無いよう気を付けている。
5. 幼稚園・保育園などの専門性を有する職場へ、高い就職率を維持できていることは大変高く評価できる。就職先や実習先の園と連携が取れていることは、高く評価できる。園との良好な関係があるからこそ、卒業生の動向や評価が把握できると思う。また、就職後まもない退職への対応にも寄与できると思うので、今後とも幼稚園、保育園と連携をとって頂きたいと思う。

#### 項目5 学生支援

・項目5について、全般的に高い評価ができる。

1. 就職、進学に関する支援体制、在学中のスクールカウンセラーによる相談体制が充実している。学生の健康管理、生活環境への配慮、保護者、卒業生に至るまでのきめ細やかな対応体制充実にも留意され、それに基づく安定した学生生活の様子がうかがえる。特に昨今の経済事情から、奨学金を受ける学生も増加していると拝察するが、学園独自の奨学制度があることは心強い。課外活動や生活支援の体制も充実しており学生生活に幅を持たせる効果となっている。職業体験という視点から中学生、高校生に対する門戸開放を推進する体制があり、将来、幼稚園教諭、保育士を目指す生徒にとって良き学びの場となろう。
2. 学生支援においては、学生の資格取得に向けた意欲を支えつつ、スクールカウンセラーや保護者と連携して DO 率を下げる取り組みを継続されていることが素晴らしいと感じる。今後も時代とともに変化していく学生世代の特徴や傾向を把握しつつ、個々の学生においても担任職員だけでなく、講師や職員など多くの教職員がかかわっていけるよう取り組みを続けてもらいたい。学生にとって学びやすい学校の雰囲気づくりにむけ、各項目の課題を計画的に改善されることに期待したい。
3. 常日頃から学生から学校の学生支援に関して、それが手厚いものであると聞く。又、卒業生を定期的に学内に招き、絶えず変化していく保育現場の情報を収集し、把握し、その知識の更新を行っている。その為、卒業後も学生は学校との信頼関係を築いており、何か現場で行き詰った事例があったとしても、いつでも相談に乗ってくれる、いつでも帰って来る事の出

来る本当の意味での母校である事を私は目撃している。

4. 学校独自の奨学金制度を整備など、学生への経済的支援は高く評価できる。メンタルヘルス不調となる人が増える中、カウンセラーによる相談体制が整っていることは、高く評価できる。一方で、新たな課題も出てきているみたいなので、今後も適宜課題解決に向け、取り組んで頂きたいと思う。
5. 昨今の社会情勢を踏まえると、学校独自の奨学金制度があること・高等教育を無償化する就学支援新制度の対象期間となったことは大変重要であり、評価できる。昨今の職場の働き方改革と授業や事務以外のクラブ指導との兼ね合いが非常に難しいと思われる。双方にとって良い形が作り上げられることを期待する。クラウド化により、保護者との連携ができることは学校だけでは支援することが難しい学生に対して家庭の協力も得られる可能性があるため、評価できる。「卒業生オンライン相談室」は大変良い取り組みのため卒業生へのさらなる広報が必要と思われる。広報職員による中学高校への「出張学習」は大変評価できる。業界全体の問題でもあるが、高校の進路指導の教員の保育職へのイメージを変える取り組みも期待します。

## 項目6 教育環境

・項目6について、全般的に高い評価ができる。

1. 附属幼稚園での実習はもとより、学内外、海外での実習プログラムが用意されている点は特筆すべきことである。教育機器備品の充実、多様な学習環境の整備、防災体制など環境整備に配慮がある。特に、自然災害が国内において頻繁に報道される昨今、学生の安全はもとより教職員の心構えが適切な対応へつながることを十分に認識されている様子がうかがえる。
2. 教育環境については、貴校においては施設・設備について十分に整えられているところは素晴らしい。学生が必要とした際に十分に活用できるよう引き続き維持管理、更新を続けてもらいたい。また、海外研修の機会の提供ができることは、学生にとって幅広い視野を持つことにもつながり、経験豊かな学生の育成にもつながるため今後も取り組みを継続されていくことに期待したい。
3. 昨今の学生に対しては、より視覚的に、映像も取り入れる授業が効果的であり、その為、教員が教室にPCを持ち込むか、あるいは常備してあるPCと共に解説を行う事が必要である。その点を学校は十分に理解し、設備投資を行っている。図工室に於いても制作時に作品の映像を学生に提示する事は、とても効果的であると考えます。
4. 大規模災害の頻発や公共交通機関の運休による帰宅困難等が懸念されるため、十分な非常食の備蓄に引き続き努めて頂きたいと思う。保育現場でも防災訓練は必須事項となっている。学生の防災意識向上のためにも、避難訓練の実施に努めていただきたいと思う。

## 項目7 学生の受入れ・募集

・項目7について、全般的に高い評価ができる。

1. 高等学校、ハローワークなどへの情報提供や、各種メディアを使った情報発信を充実させている。リカレント教育にも力を入れている点は昨今の社会情勢に即している。入学選考は適正公平であり、納付金も妥当で奨学金制度のさらなる充実を目指している点も学生は心強い。
2. 学生の受入れ・募集については高校訪問や出張純病を主業務とする広報担当職員を配置や、ホームページを活用した魅力発信、オープンキャンパスを開催するなど、様々な取り組みが行われていることは評価したい。国の政策や、少子化と大きく情勢が変化していく中で、安定的で永続的な学校経営を行うための取り組みを強化していることは重要。今後も中高生世

- 代に保育士職の魅力や仕事のやりがいについても積極的に発信をされることを期待したい。
3. 昨今の少子化にもかかわらず、絶えず一定の学生数を確保しており、それは学校への高い評判と校長による専門分野での研究活動、そして多くの高等学校への熱心な広報活動などが実を結んでいるものと思われる。
  4. 広報担当職員による高等学校への情報発信は、保育職に関する正確な情報提供に寄与していると思われ、素晴らしいと思う。少子化により、学生募集は大変困難であると思うが、引き続き高校生に届く情報発信に努めていただきたいと思う。
  5. 高等学校への広報の取り組みが評価できる。

## 項目 8 財務

- ・項目 8 について、全般的に高い評価ができる。
1. 財務状況は安定的で盤石なものと拝察する。
  2. 予算については、理事会、評議員会にて諮られているとのこと。また会計年度毎に公認会計士による監査を実施しているとのこと。情報公開もしっかりとなされているとのことなので今後も継続されていってほしい。
  3. 評議員会・理事会の承認、公認会計士の監査そして情報公開までしっかりと行われていて高評価できる。
  4. 安定した財務状況を維持する事が出来ているのも、やはり情報公開と公認会計士による監査などによる公明正大な教育機関である事が、その校風、文化に於いても良い影響を与えている。
  5. 情報公開を行い、公認会計士の監査を実施しており、全体として高く評価できる。

## 項目 9 法令等の遵守

- ・項目 9 について、全般的に高い評価ができる。
1. 各法令、専門学校設置基準等に沿って適正に運営されている。
  2. 個人情報保護規定を制定し学生要覧等に明記しているとのこと。就職後においても多くの学生が守秘義務の求められる職場へ就職するため、今後も取り組みを続けてほしい。
  3. 法令の遵守に関しても、免許状を与える教育機関として常に襟を正し、適正に行われている。
  4. 個人情報保護の遵守は、就職したのちも重要な事なので、引き続き指導をお願いしたい、SNS については、学生の情報収集や自己表現、仲間とのコミュニケーションツールとして有用である一方、誤情報や依存などの弊害もある。法令遵守の観点からも取り扱いについては十分指導をお願いしたい。
  5. 学生の SNS の運用に関しては、学校側も責任を求められる時代になっているため、適切な指導を今後も行なっていく必要がある。

## 項目 10 社会貢献

- ・項目 10 について、全般的に高い評価ができる。
1. 附属幼稚園、児童養護施設、障害者施設などでのボランティア活動が多く実践され、地域に対する貢献活動も積極的に実施されている。
  2. 記載された課題を計画的に改善しつつ、今後も地域にとっても必要とされる学校であるための学校運営を進めてほしい。
  3. 音楽発表会（オペレッタ）は、表現力に磨きをかけ、団結力をもって行われ例年にまして素晴らしい舞台であった。諸事情のため幕を閉じるということで残念であるが、また名古屋文化学園保育専門学校らしい社会貢献活動を考えていただきたい。

4. 地域社会との連携・貢献は大変重要なので、今後も継続して取り組んで頂きたいと思う。

全般的なこと、その他

- ・ 全体的に高く評価できる。
- ・ 毎年、学校自己評価を継続して行うことによりひとつひとつ改善が進められ、さらに新たな課題に向けて努力されていることが学校活動の充実や先を見通した教育の在り方、業務の軽減や効率化に繋がっていると感じている。